

羽田旭町周辺地域まちづくりの基本的考え方

-国際都市おおたの玄関口にふさわしい魅力と産業が世界に向けて輝く、災害に強い安全・安心なまち- 平成27年12月 大田区

【策定の目的】

「大田区都市計画マスタープラン」及び「大田区企業立地促進基本計画(第二次)」等の関連諸計画に基づき、羽田旭町周辺地域が国際都市おおたの玄関口にふさわしい魅力と産業が世界に向けて輝く、災害に強い安全・安心なまちを目指すためのまちづくりの方向性をまとめました。

【地域概要】

当該地域は大田区の南東部に位置し、環状8号線、放射17号線(産業道路)、海老取川、多摩川に囲まれた既成市街地です。土地利用の状況は、環状8号線沿道の一部において、土地利用の高度化により、集合住宅、業務系施設及び下水道施設が立地しています。羽田地区は、戸建て住宅が密集しています。糞谷地区は、本社機能を有する大規模工場や流通系施設等、住工調和型の土地利用となっています。羽田旭町地区の土地利用転換にあたっては、これら周辺地区をはじめ、羽田空港や海老取川等との隣接性を活かしながら、地域全体の発展に寄与する開発が望まれます。

【まちづくりコンセプト】

1 土地利用

羽田空港に隣接する立地条件を活かし、羽田空港跡地まちづくり推進計画や羽田空港跡地第1ゾーンの整備方針と連携した土地利用による地域及び産業の活性化を目指します。住工混在地域は快適な住環境と工場が共存・調和するまちづくりを進め、木造住宅密集地域は防災性能の向上のため、地域の特性に合ったまちづくりを進めます。

2 都市基盤と防災

都市計画道路補助第38号線の整備を促進し、災害時の避難路の確保や地域の道路網の形成を図ります。東糞谷防災公園と羽田空港を結ぶ多様な導線を確保し、地域防災性を高めます。

3 公共施設の最適配置

まちづくりにおける公共施設のあり方は、羽田旭町周辺地域の特性を踏まえ、地域の利便性や快適性等を考慮し、人口構成の変化や社会・経済情勢等を見据えた配置を進めます。

4 水と緑のネットワーク等

民間開発と連携し、海老取川河川整備計画(東京都)等を踏まえ、散策路・歩行者空間や広場を整備します。さらに、区民が楽しめる水辺空間を活かした、新スポーツ・健康ゾーンに繋がる環境を整備します。

5 景観とにぎわい

大田区景観計画に定められた空港臨海部景観形成重点地区に対応した、国際空港・臨海都市の魅力を高め、日本の玄関口にふさわしい風格とにぎわいのある景観の形成を進めます。

6 交通ネットワーク

国道357号の事業促進、大鳥居交差点の立体交差化の実現等、交通ネットワークの整備を関係機関に対して強く働きかけていきます。また、今後の土地利用の進展に伴う鉄道駅利用客の増加に対応した動線の確保及び駅機能の強化を図ります。

【開発誘導の方針】

1 地域防災力の向上

- ・防災機能を併せ持つオープンスペースの確保
- ・避難道路、誘導路としての補助38号線整備事業の促進
- ・耐震護岸、防災船着場等の整備、災害時の河川管理用通路の利用(海老取川河川整備計画)
- ・防災施設の整備及び多様な避難動線の確保

2 地域の魅力向上

- ・羽田空港跡地と河川等の水と緑の散策路整備の促進
- ・南前堀の埋立て整備の促進
- ・開発等に伴う敷地内空地の整備と緑化の推進
- ・景観形成重点地区に対応したまちなみ景観形成事業の推進
- ・スポーツ・コミュニティ施設等の再編

3 適切な土地利用の展開

- ・空港隣接性を活かし、周辺環境に配慮した土地利用
- ・羽田空港跡地と連携した高度なものづくり産業の誘導
- ・ものづくり産業に係る人材育成機能の誘導
- ・中小企業活性化に寄与する機能の誘導

4 交通環境の改善

- ・安全な歩行者空間の整備
- ・周辺区道(生活道路)への進入車両の抑制
- ・大鳥居交差点の立体交差化
- ・首都高速羽田ランプの交差点改良

【開発誘導イメージ図】

